

平成18年度当初予算 主な新規事業一覧

(健康福祉部 :旧健康局)

番号	事業名及び所管課	事業の概要
1	新型インフルエンザ予防対策 費 [保健医療課]	新型インフルエンザの集団発生に備えて、効果が期待される「タミル」の備蓄に要する経費 国の「新型インフルエンザ対策行動計画」に基づく都道府県への要請によるもの 備蓄量：県人口の8.3%分 17.6万人分を18、19年度で備蓄 (1/2ずつ = 8.8万人分/年) 調達方法：国が全国都道府県分も合わせて製薬会社(スズ・ロシュ社)と交渉 その結果に基づき、全国同一単価で購入契約 財源：全額特別交付税措置対象(総務省と厚労省で調整済み) その他：県新型インフルエンザ対策行動計画を17年12月に公表 ...現在は海外において鳥インフルエンザ患者が発生している状況で、タミル備蓄を行う段階(国計画でも同じ)
2	こころの健康・自殺予防対策 事業費 [保健医療課]	早期受診・早期治療の観点での県民全体を対象にした自殺予防対策の推進(国1/2、県1/2) 自殺予防対策シンポジウム ・自殺の主原因の一つと考えられる「うつ病」等に関する県民向けのシンポジウムの開催 かかりつけ医研修 ・精神科医以外のかかりつけ医に対し、自殺と「うつ病」の関連や、精神専門医への受診勧奨についての研修会の開催 普及啓発等 ・ホームページ作成、パンフレット作成、市町村相談担当者等への研修等